

# 山行報告

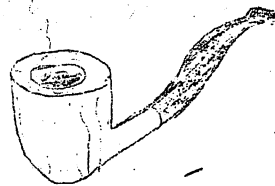
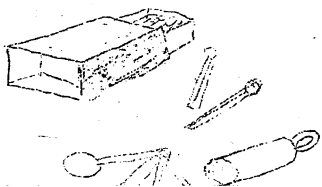


昭.45.4.~45.7.9.

信州大学山岳会・伊那松本山岳会

# 目次

○燕岳(三坂, 川口, 柴田, 村上, 遊部)	1
○折新, 頭(市野, 浅野, 金野, 中田)	3
○後立山(小根田, 福田, 鳥越, 大守)	5
○長野強化合宿(三坂, 森)	9
○捜索(笠原)	13
○新/合宿行動記録	15
○白山(市野, 三坂, 遊部, 菅尾)	19
○前アルプス(小根田, 福田, 大守, 森, 菊池, 中田, 三井)	21
○前アルプス(野口, 板東)	23
○燕→梯念(高橋(傍), 金野)	25
○岩トレ(いろいろ村人達)	27
○ネパール強化合宿(船能, 佐藤, 市野, 山岸)	29



















課外などの縦走はやほリテントではなくツェルトに  
限ると思う。軽いやがバンバンと長リ距離をとびし  
たり。

友巻会などで、memberが21才から4人になつた時  
コースと経路を多かり日の行動を短くすべきであ  
た。名カ不足であつた。各1人1人がリーダーの立  
場を回してその道をたつてきた。2年生だけ  
で行つたところのことには、十分に安全を確保し  
ておくべき。と、このコースに決めた。

山行の心得 >

# 長野強化合宿参加 4月29日～5月5日

member

山田正弘、大谷敬、吉野英夫、井口隆夫、秋田敬崇、  
藤松太一、三坂達次、森茂

場打 南股取入口B.C. 不帰東面

行動

4月28日(火) ◎ → ④ → ◎  
12時から寝出し、陽は森下氏宅泊

? 4月29日(水)  
長野から南股取入口付近まで  
7:25 7:40 8:50 12:50  
吉野氏、森はT.S.付近で首下スキー練習  
天気図をどってからア食(豚汁)  
ホエアスをこめじわ使用しおした。

4月30日(木)

3:00 Essen当起床  
5:05 B.C.登 ①  
6:05 南麓わがわの上流右岸の斜面於て ◎  
? 雪上訓練(キックステップ、滑落停止)  
8:30 不帰沢に入る ○  
10:55 不帰沢コル  
11:45 不帰天下降(シリセード)  
13:10 B.C. ↓ ○

吉野氏は不帰沢氷合までスキーを上げB.C.まで滑る。

5月1日(金)

3:00 Essen当起床  
5:00 B.C.登  
6:55 南股沢氷合から約1P.の所に2 ↓ ◎  
? continuous climbingの練習  
9:00 エへ  
10:15 南麓山をこらえて三峰(夜時)  
13:00 三峰のコレより2時間ほど下降(シリセードがけりあう)  
14:10 B.C.

吉野氏、森はお日(山)所までスキーと降り  
歩きの聲、雪の音、足音、何故か?  
夕飯はかきおこし、お物いづく(おまても)お口)

5月2日(土)

- 4:00 Essen当起床 ○
- 6:15 B.C.茶 烏帽子沢に入る。
- 6:50 滝の下  
左岸の岩を登り(1ピッチ)やみどぎとなる。  
上部雪田を終て烏帽子沢と漏入沢の間の広い  
尾根上に出る。
- 8:40 コル上 ○
- 9:50 着山 山頂の... 湯, 入沢本谷へ。  
... 歩く。
- 10:50 B...

山田氏入天。  
 赤日「朔日は... 雲は... 今ね今ねと  
 赤日「朔日は... 雲は... 山気象解説  
 ... 巻いて岩を登って...  
 子采右岩なら相当で、かなの...  
 ... 見ている分にはこの上も...  
 烏帽子沢の上の方ほど... 歩くにしてもおっかな  
 く見えて、もう尾根からおりたくなわ、た。

5月3日(日)

- 7:00 起床 とうとうないか一応沈殿 ○
- 12:00 昼食 山田氏下山 ○
- 一日沈殿して天気かくすれる  
のを見ていもつもりぬこの日もっいに  
くすれませんでした。  
夕食にカタクリのおひたしを食べました。

5月4日(月)

- 2:30 Essen当起床 ○
- 3:15 朝食 食後待機 ○
- 6:25 B.C.茶 ○
- 9:42 (稜末端とリンさ) ○  
カ1岩壁かッコンラ(40mの11に3人)  
カ1岩壁は... 柵も... にかくろ人アザイル  
カ1... (つた)可さと和向... 20分程のタイムロ  
スの末左のブッシュのリンサも...  
15:15 途中1度1本とったたけで、... 放される。

15:25 松岳との間のユルからシリセード。

16:50 B.C.着

A校は井口氏、社田氏行。たが途中でB校側へ下る。

C校は吉野氏、三坂、森。藤松はTank Keeper。

吉野さんにはおんどし袴をりつぎあたりでアスキーを上

り長い階段を楽しみ。ナダレが自分の足とからアン

パン落ちる。足がスルッとするとドキッとふる。スノ

ウエマローの上に乗る。シリセード、3校でひっし

りる。いさどっねのパーティーの覚え事した。

5月5日(火)

B.C.

白旗峠 → 松平

7:05 @

8:45

12:00 @

びいるかちめたくて、あいらくと、カンにツアツブツ  
ブツブと水筒がついていりした。それをググッと飲ん  
でしよって、ゆ、せりとタバコに火をつけた。

《感想》

よくも早く零くも早い非常に条件に恵まれた互月の山を  
十分楽しめし手した。やはり仲間も楽しめた。味のあま  
い。長距離の人達と一鍋に山行して「ハエー」と感心する所  
もあつた。おもしろい。この山は私個人が成想であつた。  
（こ火は全く私個人が成想であつた。）

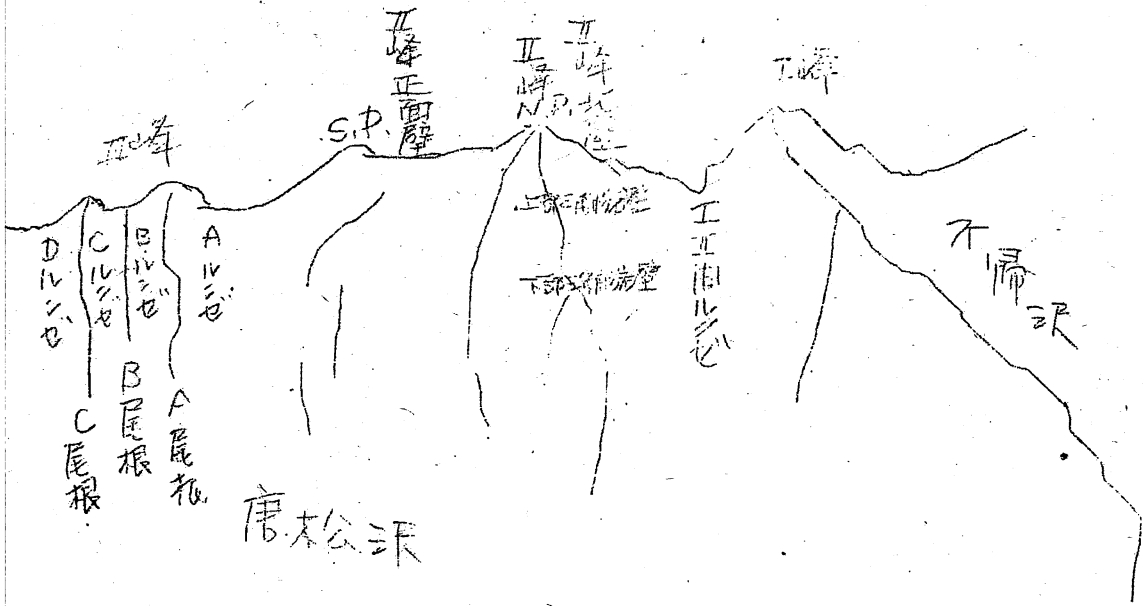
(王真 森 三坂)



たたくり(かたこ) (ゆり科)  
Erythronium japonicum Decne

//

# 不帰東面



## 別離

さよなら さよなら

こんなによりお天候の日に お別れして行くのか

と思うと本当につらい こんなによりお天候の日に

さよなら さよなら さよなら さよなら

ほくひるぬからくめとみると皆さん家を閉け  
せられた あの時を思い出します

さよなら さよなら さよなら

そして明日の今朝は長い年月はなれただ  
故郷の土を思ひのりたのです

さよなら さよなら

あなたは今あなたにパラソルをふる

あなたは今あなたにパラソルをふる

さよなら さよなら

さよなら さよなら

(中絶)

# 居谷善又君遺体捜索報告

信州大学 農学部 捜索隊 記録

4月29日～5月4日

CL	宮崎 敏寿	OK
SL	屋山 耕一	探検
	井岡 芳郎	
	空原 敬一	
	難波 良平	探検 RCC
	草野 徳光	RCC
	(斎藤)	RCC (工学部)

B.C. 丹溪

4月29日

入山 伊那 (大学のバック) - 戸台 - 丹溪

4月30日

全員の戸台本谷に入り、上部で3>に別山六ヶ所、新津峠村近にそれぞれ抜けた。

下山は宮崎氏、屋山氏、仙水峠まで、他は多見山手前のコルナリ石ロープ。北沢小屋からフリーで下った。

本谷は谷の奥まで降りた。谷見がまぶ。右俣土の谷に下った。下った谷がある。

谷手には下った。谷がえらかった。現場にはあり。谷手はうま、こい、楽だ、行。

屋山	井岡	水晶谷下降
宮崎	草野	小仙丈沢下降
空原	難波	沢下降

小仙丈沢の谷が遠くで下った人だった。

5月2日

星山 井肉 栗沢山の頭  
残り4人で再び本谷に入り右俣の大滝付近の釜をのぞく、難波、草野、本谷、下降、ベース、  
官崎、笠原、駒津峰より駒へ行くクサリ場(春まで)  
井肉 party が雪虎の落ちた形跡を確認した処へ  
ける、せを調べた。

駒津で日本ペイント(尾谷君の父が孫か)の  
party に会い一緒に北沢を降り降りました。  
この日、日本ペイントのB party が小仙犬のカールに  
黄色いザックらしきものを発見したとのこと。

3日

全山を捜すには、北沢と北沢峠の間に  
降り、山頂から北沢の入り、この日はこの  
に、雪の道を、北沢の入り、北沢の入り、北沢の入り、  
の雪の道を、北沢の入り、北沢の入り、北沢の入り、  
解けを手にねばならないだろうし、谷以外なら捜索  
方法を根本的にかえねばならないだろう。

4日 下山

荷物をアイツバで取りあい、バラバラで下る。  
難波、山頂の道、尾骨を打った宮崎氏のえさ  
どうにかして、大谷のバスのお迎えで、直接大学へ  
戸台から、大谷のバスのお迎えで、直接大学へ

山頂で、宮崎の、山頂の、山頂の、山頂の、山頂の、山頂の、  
文に感謝、山頂の、山頂の、山頂の、山頂の、山頂の、山頂の、  
5月の末には宮崎自宇と戸台の本谷をとうとう登  
りきってしまった。

反省 部外者との山行、目的がはっきりしていた、善段  
のつきあいが変わったということもあるが、各自が  
リーダーシップを取れる人間なら、部外者との山行  
ということも、山ほどの問題にはならない。  
もちろんこの山行の裏に、毎度の難時の対策が、  
中うかしてあったことを忘れてはならない。  
く又責 KEN >



1910年度

# 新人合宿行動記録(1)

5月25日 ②後①

## ○行動記録

人文学部発 — 萬ヶ谷入口 — 岩倉留小屋 —  
 (5:50) (6:20~6:35) (6:30~11:30 (通過))  
 — 紀伊味 — 明神下S.  
 (15:30~17:30 (通過)) (19:00)

## ○X>ハ-

C.L. 井岡

A.P. 大坂田 \*野田 森下

B.P. 大坂野 \*野地 \*金野 \*紫田 \*小谷野 \*若部 \*小根田 \*大安

C.P. 大坂奈 \*野野白井 \*加賀 \*川口 \*鳥越 \*福田

D.P. 大坂藤 \*高橋(田) \*甲田 \*野口 \*菅尾 \*三井 \*山岸 \*三坂

E.P. 大坂 \*五岩 \*高橋(新) \*板原 \*藤枝 \*高坂 \*森

他: 山下 O.B. 秋田 (バスにて入山)

\*印は合宿 新人部員

5月26日 ②後②

## ○行動記録

明神下S.発 — 槇尾B.C.  
 (8:00) (11:00)

## ○X=ハ-

25日と変化なし

山下氏 同次入

入山 7時

5月27日 ①

## ○行動記録

槇尾B.C. — 環状墓  
 (4:00) (6:00~6:30)

## 雪上訓練

全員: キックステ, 7.5フト, 7° 6:20~11:00.

女子4年生: コンテ 10:10~11:00.

同次発 — 槇尾B.C.

(12:45) (14:30)

○ 128-

- A. △市野 大寺, 小根田, 高坂, 鳥越, 野野, 白井, 加百積
- B. △笠原 川口, 菊地, 小谷野, 全野, 桑田, 菅元, 高橋(正)
- C. △中田 大谷, 杉岡, 福田, 三坂, 森, 山岸, 高橋(雄)
- 中田, 野口, 坂東, 藤松, 三井, 渡部, 立巻
- 牧田, 森下, 野田

沈 秋田

5月28日 ①

○ 行務記念

松尾 B.C 巻  
(3:10)

- A. △市野 大寺, 小根田, 高坂, 鳥越, 野野, 白井, 加百積, 川口, 菊地, 小谷野, 全野, 桑田, 松尾, 高橋(正)
  - B. △笠原 大谷, 杉岡, 福田, 三坂, 森, 山岸, 高橋(雄), 中田, 野口, 坂東, 藤松, 三井, 渡部, 立巻
  - C. △中田 牧田, 森下, 野田
- 沈 秋田  
入山 ○井工 ○村上

雪上訓練

新人 A.B 二区, 10分47秒 洞次岳へ  
 洞次岳 —— 白出エル —— 洞次岳 —— 松尾 B.C.  
 9:45 11:25 (12:10 ~ 12:30) 3:05

△佐藤 2年生男子 10:57にて白出エルへ  
 佐藤, 大寺, 小根田, 森, 山岸, 北藤 3:30にて洞次へ  
 高坂, 鳥越, 福田, 三坂 新人 Party 合流にて白出エル  
 以下小

△中田 森下, 北藤 東校 到北穂

# 新人合宿行動記録 (2)

5月29日 (C)

## ○行動記録

B, C 巻 —— 田次着  
 4:00 6:00  
 滝谷 4尾根 P. 大佐藤 市所  
 喋々 P. 大野田 野田  
 A, B. 大谷 新丁 大谷 高坂 野田, 森  
 下所, 加賀 藤, 菊地, 金井 高橋(所)  
 野口, 藤板, 立岩  
 B P. 大井内 井上 坂日 三坂, 自越 三坂, 小原  
 白井 川口 大野田, 高橋(所), 立岩  
 三井, 井上 立岩  
 秋田, 田次 着

## 雪上訓練

A P, B P

7:00, 7:30, 7:45

6:25 ~ 8:30

## 訓練ルート

大野田 一 後 → 大野田 本谷  
 大谷 藤板 立岩  
 大野田 (5:00) → 前坂 → 高橋(所) → 田次  
 大野田, 三坂, 立岩  
 大野田 → 大野田  
 大井内, 井上, 立岩

## 合宿ルートを

A 大野田, 菊地, 金井, 藤板, 立岩  
 B 大野田, 前坂, 大野田, 高橋(所), 三井, 立岩  
 C 大井内, 三坂, 中野, 野口, 高橋(所), 三井, 井上  
 D 大谷 野田, 大野田, 白井, 加賀, 藤, 坂部, 高橋(所)  
 E 大井内, 立岩

横尾 B, C 一 旧谷 小原 一 高橋(所) ← 6:25 — B, C  
 (5:00) (7:00) (10:00 ~ 11:00) (11:00 ~ 11:45) (15:00)

- ・ 奥又白 — 前穂 — 田天  
 △ 前穂, 森, 小畑岸, 小根田, 下安  
 B.C — 前穂 B.C 下 — (10:00) — 又白也 —  
 (9:05) (9:05-9:20) (9:15-9:20)
- 前穂 — 田天 — 横尾 B.C  
 (10:10-11:20) (12:00-1:30) (1:15-1:30)
- ・ 横尾本谷 — 槍 — 横尾  
 △ 牧田, 中田

入山 前穂, 小畑岸  
 下山 前穂, 小畑岸

11月31日 ①

〇行動記録

- ・ 奥又白 下安寄り  
 △ 前穂, 森, 大谷, 佐藤, 牧田, 中田, 前穂, 横尾 A.C  
 小下 B.C
- ・ 奥又白 — 前穂 — 田天 — B.C  
 △ 前穂, 森, 前穂, 高坂, 高坂, 高坂
- ・ 横尾本谷 — 槍 — B.C  
 △ 小根田, 小畑岸, 下安
- ・ 下山 — 中田

11月1日 ②

下山

以上

白 土 旗 ... 6月13日 ...

市 曾 本 左  
三 坂 律 次  
音 尾 繁 二  
流 田 光 則

6/13

8:55 松本 — 4:30 美濃白鳥 — 6:50 上佐所 — 7:05 石徹白川左岸

たし 賢い下地で頭がボクリッとする日でした。  
電車とバスにゆらめいて10日間登りに上佐所は山の奥の  
その王女 奥  
大和まで行く予定であったが暗くなりかた 遅れるので  
早くテントをはる。  
しゅっぱりの野暮イタメがきりた

6/14

7:00 大杉 — 7:50 谷 1500m — 10:45 一の山 — 12:05 二の峰

カゲシシノサント屋

11日よりこの水の出山である。  
大杉まで11時 14分 15分 ... 12時 ...  
2-3分 ...  
大杉は木立 ...  
そこから木立 ...  
銀色の ...  
... 400m あたり  
...  
くまが ...  
るの ... シカント屋 ...

6/15

梅雨前線による豪雨のため中止

6/16 以前と同じ豪雨のため中止

6/17 ヒナン小屋 ——— 別山 7:15 ——— 南竜馬場 8:55 ——— 御前峰 3:30

雪道 4:10

雨が小降りになったので出発、カスが濃くて何も見えず、ただ蓋が見えるだけ。南竜馬場から雪室へ出く所がカスがひどく雪の上でルートもわからず10時に南竜馬場へ入る。カスの作業者の作ったかきよくなる見通しがないので別のルート。地団と石磁石を見て夏村ヒハの雪のつまた沢を渡る。雪室の下の大平原へ出てからはまったく現在地をみてもわからず、お白のヤミの中に4人がひたすら北へ北へと歩いた。お白ヤミの半を2時間歩いて北の谷に出た。お白から八ヶ岳を二日、道をかじり、御前峰へ行って記念写真を撮り、雪室へお入りしてテントをかきおのこに二本柱のロープ。小屋のまわりには、たまたまオヤシカ、球、こは国立公園である。テントを建て、お白の雪の上へはもといいた。罰金500円しかかたがたりの雨の中を、お白にして雪の上へ。夜は雨風がよくテントが、おとぶのではなれかと心配した。最後の夜であったので、1年住む最後のソクを出してうまいめをした。

6/18 雪室 ——— 大白川ダム 8:10 ——— 平瀬 11:50 ——— 美濃白鳥 12:00 ——— 松本

今日もまたカスの作業者の地団と石磁石を見て雪の上を歩いた。三方岩へ行のは、お白で干瀬道を経て大川ダムへ。ダムから干瀬へは、お白の道を、お白。足にかたおと足のいたみを感じる。計画の半分しか出来なかったのは死念であるか、悪条件の中、お白にシゴかれた。★この山行に因しての報告書も別に作成する予定でお白。

市野

# 志 徒 人 フル ア

日 期

1970

コース

島口 — 御幸峠 — 大窪 — 野原岳 — 常念岳  
 — 大天井岳 — 燕岳 — 鉢巻岳 — 松川新  
 ト — 大天井岳 — 御幸峠 — 大窪

メンバー

山本 辰田 一郎  
 大 天 井 岳  
 野 原 岳  
 大 窪  
 御 幸 峠  
 大 窪  
 三 木 和 夫  
 志 徒 人 文

6月22日  
 大窪

P. 船 2 島 小 9 発 島 口 行 二 乗 車  
 う り の 又 小 9 発 島 口 行 二 乗 車  
 の 大 天 井 岳 野 原 岳 大 窪 御 幸 峠 大 窪  
 の 大 天 井 岳 野 原 岳 大 窪 御 幸 峠 大 窪

6月23日

上 山 大 窪 野 原 岳 大 窪 御 幸 峠 大 窪  
 野 原 岳 大 窪 御 幸 峠 大 窪  
 大 窪 御 幸 峠 大 窪  
 野 原 岳 大 窪 御 幸 峠 大 窪

6月24日  
 ①後②

野 原 岳 大 窪 御 幸 峠 大 窪  
 大 窪 御 幸 峠 大 窪  
 野 原 岳 大 窪 御 幸 峠 大 窪  
 大 窪 御 幸 峠 大 窪







7月4日 起床 —— 三ノ場登 —— 常念岳 —— 常念小屋  
 ① → ② (4:15) (7:00) (8:00) (9:05)

三ノ場 —— 大天荘着 —— 燕山荘着  
 (12:50) (15:38)

7月4日 起床 —— 三ノ場登 —— 常念岳 —— 常念小屋  
 ① → ② (4:15) (7:00) (8:00) (9:05)  
 三ノ場 —— 大天荘着 —— 燕山荘着  
 (12:50) (15:38)  
 三ノ場に着いたのは朝早く、まだ暗い。大天荘まで登ると、朝霧が立ちこめ、景色が神秘的である。常念岳は、山頂まで登ると、絶景が広がる。常念小屋は、山頂に近いところにあり、景色が素晴らしい。

7月5日 起床 —— 燕山荘登 —— 燕山荘着 —— 燕山荘着  
 ③ → ④ (3:10) (4:00) (4:05) (4:55)

—— 燕山荘登 —— 燕山荘着  
 (6:30)

7月5日 起床 —— 燕山荘登 —— 燕山荘着 —— 燕山荘着  
 ③ → ④ (3:10) (4:00) (4:05) (4:55)  
 —— 燕山荘登 —— 燕山荘着  
 (6:30)  
 燕山荘に着いたのは朝早く、まだ暗い。燕山荘まで登ると、朝霧が立ちこめ、景色が神秘的である。燕山荘は、山頂まで登ると、絶景が広がる。燕山荘は、山頂に近いところにあり、景色が素晴らしい。

昭和四年四月四日 - 同日

山形県 酒田 金沢美奈志

第 八

本邦 有明 中房 3P 常食小屋  
 (1079) (1100) (900) (1050)

大天荘 ← 燕 → 常食小屋  
 (1150) (1250) (1250) (1050)

中房より先づ酒田に着き、有明に宿し、中房へ向ふ。中房には大天荘と云ふ所あり、燕は此處に居る。燕は昔より有名なり、其の味も亦佳し。燕は酒田に生るものより少し大なり、且其の味も亦佳し。燕は酒田に生るものより少し大なり、且其の味も亦佳し。

酒田から中房へ向ふ途中、山形県と云ふ所あり、其の風景も亦佳し。山形県は酒田の南にあり、其の風景も亦佳し。山形県は酒田の南にあり、其の風景も亦佳し。

酒田から中房へ向ふ途中、山形県と云ふ所あり、其の風景も亦佳し。山形県は酒田の南にあり、其の風景も亦佳し。山形県は酒田の南にあり、其の風景も亦佳し。



# 岩トレ

5月9日 猿岩 笠原、小根田

- 正面壁 右ルート
- 正面壁 左側ニールート
- アップダウン ルート

5月10日 猿岩 笠原、森、福田、鳥越、高橋

- 昨日のルート
- 一年生はやはり フリークライム(バランス)を身につける  
必要があると思います。
- 岩の周りの 注意事項をしっかりと教えること

6月14日 鳥帽子岩 伊那、松本岩トレ

11名 井上、扇能、笠原、井関、井口

2年 三坂(白山山行)以外全員

3年 市野(白山山行)で不参加

1年 菊池、小谷野、高橋(セキ) 不参加

菅原、渡辺 (白山山行)で不参加

岩トレ係を中心に1年生に岩トレの基礎を教えた。

6月20日 物見岩 長野部員 村上

27日 物見岩 森、三坂 長野部員 藤松

30日 物見岩 井口、藤松(長野) 三坂

7月3日 厩所 大守、森

斜状バンド

◦ 本日のルート

4日 厩所

井上、三坂、大守、福田、森、  
間瀬、村上、高橋、川口、菅尾、伴田  
加藤、三坂

- トシバースルートの上 三坂 川口
- 余牛上バート 三坂 村上, 福田, 菊池, 笠原, 間瀬
- 奥の岩上カトラバス 三坂 大塚
- 太田ルート 三坂 村上
- 福田 村上
- 笠原 間瀬
- 森, 加瀬 三坂

7月5日 蔵所  
笠原, 三坂, 秋田, 森, 村上, 川口, 間瀬

6月21日 猿岩  
井岡, 笠原, 佐藤, 大塚, 三坂, 福田, 表  
高橋, 白井, 渡辺, 村上, 川口, 浅野, 三井  
紫田, 中田, 菅尾

7月5日 マヤコ  
・ 森 鈴田, 川口 太田ルート  
・ 三坂 村上 A face の右コンクリ  
・ 笠原 間瀬

7月6日 マヤコ  
・ 斜セバート 三坂 板東  
・ 奥の岩カトラバス

7月7日 マヤコ  
・ 斜セバート (加瀬川頭: 高橋正)  
・ 奥の岩カトラバス (菅尾 高橋正)  
・ エキストラバス 三坂 村上  
・ 太田ルート 村上 菅尾  
・ A face 三坂 川口

ネパール強化合宿

鹿島梅園迎

昭和45年4月29日より5月5日

リーダー：扇能 清

メンバー：OB：石瀬 斐敦

小川 勝

山下 泰弘

現役：佐藤 正敏

出島 五郎

藤田 正夫

市野 和雄

西村 和夫

梅田 裕吉郎

山岸 秀樹

小川 承行

カクネ里、至沢へも入りたかたのどすか存在しるこのgolden week 2が日本の西方に停滞して毎日荒天が予想されたので思っ

現って動けませんでした。今回トレースマキタルト 谷川 透の主校、北校 浪尾根 西俣 奥野 3本

布引 北東 尾根、鹿島 梅園 トレース 尾根 浪尾根 今年は雪崩りかおまいとカネ 毎日午前12時ごろは雪崩が起

こいました。最終日などはダイレクト尾根に登りながらトドマン 上のすこりもの2本を、 明日は雨をから今日は晴かまて 毎日毎日まくり返して

とうとう最終日まで連日行動 巻、日差をまんまんにあいた女の 度息 陰はあ、かたり前之 今にも落ちてきたブロックが女、う

こ、うにひ、かか、まのい、す、キ、フ、雪、ま、た、く、さ、ん、 カクネ里女んてとこるばとんてもなり、ルートを巻いてから

60mの雪壁 あんなにこらるまの木のてです。 さかまきい、今は雪をかきとれなると見えて見よるとあ、今

美しくもカクネ里をのびと見れば、 今年のカーマは女の多の多いこと、 毎日は多く、

毎日立公息中で毎日たきか、 毎日欠かえず  $C_2H_5OH$  を飲みました。

- ま、たく換分たこと。
- その1 巨SSのテントをわすれた
- その2 野望のダンボールをわすれた
- その3 ビバーク急のダンボールなくなりました。

大谷原から大沢沢へ入りやすくなりました。登り1hour 下り30分

西沢ホップスリー大会 不参加を宣言しながらそれを守る  
人いませんでした。 それで毎日大さ火  
河原にたくさん火、た枯木少なくなりました。 市野

4月30日 3の沢 — 東屋根 — 北峰 — 北股峠  
市野、 小川永行 山下、 市野  
3の沢の境の手前で左へ行き最後のガラ場までコーラ  
言いました。  
北峰と1階間のゆるねく本谷を下るために雪の状況がよ  
くなるのをまっ)

5月1日 笠ヶ岳 主稜  
小川永行 市野  
取り付くまでかきりてす 東屋根を越えて北峰へ下る  
まわって正面に主稜が見える。  
正面にたのルンセが両りのほ水そうな身かしますか  
まはよしと3の沢へ入り2本目のルンセまのぼると  
邊に行けます。  
あとはおもしろいことのない雪の尻根です。  
雪がくさくさする。 雪かきとります。  
5月の山行にはツカンが必要です。

5月2日 東屋根 市野、 山岸、 市野  
東屋根の途中にG.D.M.がテントをはってました。  
森田さんの知人の方かおす外でお茶さいたいただきました。  
北峰に早く着いたので 雪と朝飯。  
森田さんからヨーロッパスタイルのストップアセなりました。

5月3日 西俣奥壁  
市野、 小川永行 市野  
通ったあとから大きなオアシ、 スノーシューをまたぐなど  
キャセヤするところばかり。  
カッコーの鳴き声がとれました。

5月4日 夕紅外屋根 全員  
今日こそ天候かくす外と思つて行くかやめるかまっ  
全員で夕紅外へ、 ナルカドントン 雪尻根から下山。

5月5日 下山、 そのまま 奥行委員会へ、 市野





